

## 第7学年 国語科

	単 元	観 点	評 価 項 目	時 数
1 学 期	「風の五線譜」	国語への関心・意欲・態度	音読や朗読する詩の内容や表現に関心をもち、工夫して読もうとしている。	1
		読む能力	語句の意味を理解し、想像力を働かせて詩を読み、朗読するときに注意する語句を選んでいる。C(1)ア	
		言語についての知識・理解・技能	様々な種類の文章を音読したり朗読したりすること。【C(2)ア】	
	「話し方はどうかな」	国語への関心・意欲・態度	目的や場面に応じた、聞きやすい速さや声の表情について考え、適切に声を出そうとしている。	2
		読む能力	語句の意味を理解し想像力を働かせて文章を読み、朗読するときに注意する語句を選んでいる。C(1)ア	
		言語についての知識・理解・技能	二種類の音読に取り組む。(野球中継・気象情報)	
	「音声の働きや仕組み」	国語への関心・意欲・態度	音声の働きや仕組みに関心をもち、場面に合わせて使い分けようとしている。	1
		言語についての知識・理解・技能	音声の働きや仕組み、音節、イントネーション、アクセントなどについて理解している。伝国第2学年(1)イ(ア)	
	「詩の心－発見の喜び」	国語への関心・意欲・態度	音読や朗読する詩の内容や表現に関心をもち、工夫して読もうとしている。	3
		読む能力	語句の意味を理解し想像力を働かせて詩を読み、朗読するときに注意する語句を選んでいる。C(1)ア 作者のものの見方をとらえ、自分のものの見方を広げて朗読の仕方を考えている。 C(1)オ	
	「鮮やかに表現する」	国語への関心・意欲・態度	描写や表現技法について、その用法や叙述の仕方を確かめながら文章を書こうとしている。	1
		言語についての知識・理解・技能	比喩や反復などの表現の技法について理解して書いている。伝国(1)イ(オ)	
	「小さな発見を詩にしよう」	国語への関心・意欲・態度	詩を作るために日常生活の中からふさわしい題材を進んで見つけようとしている。	3
		書く能力	自分の考えた作品のよさやその根拠が相手に伝わるかどうかを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にしている。 B(1)エ	
		言語についての知識・理解・技能	比喩や反復などの表現の技法について理解して書いている。 伝国(1)イ(オ)	
「入法とは言葉の単位」	国語への関心・意欲・態度	自らの日常の言語活動を振り返り、言葉のきまりを見出そうとしている。	2	
	言語についての知識・理解・技能	言葉の単位について正しく理解している。伝国(1)イ(エ)		
「活字と書き文字・画数・筆順」	国語への関心・意欲・態度	活字と書き文字の字体の典型的な違いについて関心をもち、その違いを見つけようとしている。	1	
	言語についての知識・理解・技能	活字と書き文字の違いと、漢字の画数について理解している。伝国(1)ウ(ア)(イ)		
「飛べかもめ」	国語への関心・意欲・態度	読書に関心をもち、全文を読んで感想を持とうとしている。	3	
	読む能力	文章の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てている。 C(1)ウ		

		言語についての知識・理解・技能	語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係を理解している。伝国(1)イ(ウ)	
1 学期	「さんちき」 学びの扉 〔議論する力〕	国語への関心・意欲・態度	読書に関心を持ち、全文を読んで感想を持つようとしている。	5
		読む能力	文章の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てている。C(1)ウ	
		言語についての知識・理解・技能	語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係を理解している。伝国(1)イ(ウ)	
	「会話が弾む質問をしよう」	国語への関心・意欲・態度	テーマを決めてインタビューに取り組み、相手の発言を注意して聞き、話を続けようとしている。	2
		話す・聞く能力	必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理している。A(1)エ	
		言語についての知識・理解・技能	日常生活の中の話題について報告や紹介をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりしている。	
	「つなぐ言葉・指し示す言葉」	国語への関心・意欲・態度	接続詞、指示語に関心を持ち、それぞれの働きを考えようとしている。自らの日常の言語活動を振り返り、言葉のきまりを見出そうとしている。	1
		言語についての知識・理解・技能	接続詞や指示語のはたらきについて理解している。伝国(1)イ(エ)	
	「オオカミを見る目」 学びの扉 〔整理する力〕	国語への関心・意欲・態度	文章の内容や表現に関心を持ち、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と筆者の考えとを読み分けようとしている。	5
		読む能力	文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と筆者の考えとを読み分けている。C(1)イ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えを持っている。C(1)エ	
		言語についての知識・理解・技能	文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと。【C(2)イ】	
	「構成を考えて書こう— 「私」の説明文」	国語への関心・意欲・態度	相手を意識した分かりやすい話し方に関心を持ち、話の構成を工夫し、聞き手の反応を見ながら話そうとしている。	6
		書く能力	日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめている。B(1)ア 集めた材料を整理し、段落構成の整った文章を書いている。B(1)イ	
		言語についての知識・理解・技能	図表などを用いた説明や記録の文章を書こうとしている。【B(2)イ】	
	「文の成分・連文節— 文節をつなぐ見えない糸」	国語への関心・意欲・態度	自らの日常の言語活動を振り返り、言葉のきまりを見出そうとしている。	2
言語についての知識・理解・技能		文節の働きについて理解している。伝国(1)イ(エ)		
「音読み・訓読み」	国語への関心・意欲・態度	音読みと訓読みについて関心を持ち、練習問題に取り組み、漢字を適切に読み分けようとしている。	1	
	言語についての知識・理解・技能	漢字の音読みと訓読みについて理解し、適切に読み分けている。伝国(1)ウ(ア)(イ)		
読む 「碑」 「本で世界を広げよう」	国語への関心・意欲・態度	読書に関心を持ち、全文を読んで感想を持つようとしている。 考えたことを生かしながら読書カード作りに取り組みようとしている。	2	
	読む能力	読書カードを作るという目的に合わせて引用する部分を選び、内容紹介やキャッチコピーをまとめている。C(1)カ		

	「戦争・平和」	言語についての知識・理解・技能	様々な種類の文章を音読したり朗読したりする。【C(2)ウ】	
2 学 期	「スズメは本当に減っているか」 学びの扉〔分析する力〕	国語への関心・意欲・態度	事実と意見を読み分け、要約したり要旨をとらえようとしている。読んだことから関心を広げ、疑問点、さらに詳しく知りたいことを挙げようとしている。	6
		読む能力	文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解している。 C(1)ア 事実と意見とを読み分け、目的や必要に応じて要約したり、要旨をとらえたりしている。 C(1)イ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くしている。 C(1)オ	
		言語についての知識・理解・技能	単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること。 伝国(1)イ(エ)	
	「根拠を明確にして書こう—意見文」 学びの扉 〔実用的な言葉の力/説明する力〕	国語への関心・意欲・態度	伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書こうとしている。	7
		書く能力	伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書いている。 B(1)ウ 互いの文章を読み、題材のとらえ方や材料の集め方などについて相互に学び合い、自分の表現の参考にしている。 B(1)オ	
		言語についての知識・理解・技能	単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること。 伝国(1)イ(エ)	
	「具体例を挙げて伝えよう『ことわざ』スピーチ」	国語への関心・意欲・態度	グループ討論を前向きに進める方法や心構えを会得しようとしている。	5
		話す・聞く能力	全体と部分、事実と意見の関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話している。 A(1)イ 話す速度や音量、相手に分かりやすい語句の選択、適切な言葉遣いの知識を活かしながら話している。 A(1)ウ	
	「単語の分類—単語分類マシンを完成させよう」	国語への関心・意欲・態度	自らの日常の言語活動を振り返り、言葉のきまりを見出そうとしている。	2
		言語についての知識・理解・技能	単語が、文中ではたらきや特色によっていくつかの種類に分かれることを理解し、品詞を区別している。伝国(1)イ(エ)	
	「漢字の部首」	国語への関心・意欲・態度	漢字の部首について関心を持ち、部首を区別しようとしている。	1
		言語についての知識・理解・技能	漢字の代表的な部首について理解している。伝国(1)ウ(ア)(イ)	
「月夜の浜辺」	国語への関心・意欲・態度	音読や朗読する詩の内容や表現に関心をもち、工夫して読もうとしている。	1	
	読む能力	語句の意味を理解し想像力を働かせて詩を読み、朗読するときに注意する語句を選んでいる。 C(1)ア		
	言語についての知識・理解・技能	比喩や反復などの表現の技法について理解している。 伝国(1)イ(オ)		
	5 古典の世界 「伊曾保物語」	国語への関心・意欲・態度	古典作品に関心をもち、古文を意欲的に読み、現代語訳をもとに大意をとらえようとしている。	

	「竹取物語」 「矛盾」	読む能力	文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解している。 C(1)ア 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えを持っている。 C(1)エ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くしている。 C(1)オ	11
2 学期		言語についての知識・理解・技能	文語のきまりを知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら古典の世界にふれている。伝国(1)ア(ア) 古典には様々な種類の作品があることを理解している。伝国(1)ア(イ)	
	「案内や報告の文章を書こう」	国語への関心・意欲・態度	いろいろな説明の仕方を理解し、学習活動の見通しを持ち、書いたり推敲したりしようとしている。	3
		書く能力	集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成している。 B(1)イ	
		言語についての知識・理解・技能	図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと。伝国ウ(イ)	
	「名詞—『名前』はいろいろ」	国語への関心・意欲・態度	自らの日常の言語活動を振り返り、言葉のきまりを見出そうとしている。	1
		言語についての知識・理解・技能	名詞の定義・種類・成り立ちについて理解している。伝国イ(エ)	
	「少年の日の思い出」 学びの扉 〔解釈する力〕	国語への関心・意欲・態度	文章の構成や展開、表現の特徴について他の考えを積極的に聞き、自分の考えに取り入れようとしている。	6
		読む能力	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てている。C(1)ウ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えを持っている。 C(1)エ	
		言語についての知識・理解・技能	語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語幹を磨いている。伝国イ(イ)	
	「語の意味と文脈・多義語」	国語への関心・意欲・態度	語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して、多義語の意味について考えようとしている。	1
言語についての知識・理解・技能		語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係を理解している。伝国(1)イ(イ)(ウ)		
「集まって住む」 本で世界を広げよう〈暮らし文化〉	国語への関心・意欲・態度	課題に沿って情報の収集に取り組もうとしている。	3	
	読む能力	調べてみたいことを決めて情報を探し、分かったことを情報カードにまとめている。 C(1)カ		
	言語についての知識・理解・技能	「学年別漢字配当表」に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち250字～300字程度までの漢字が読める。伝国ウ(ア)		
3 学期	「ニュースの見方を考えよう」	国語への関心・意欲・態度	メディアが伝える情報とのつきあい方について考えようとしている。	3
		読む能力	ニュースの見方について分かったことや考えたことを挙げている。 C(1)オ 目的に応じて写真と文を選択し、ニュースを編集している。 C(1)カ	
		言語についての知識・理解・技能	語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係を理解している。伝国(1)イ(イ)	
		国語への関心・意欲・態度	学習活動の見通しを持ち、楽しみながら書いたり交流したりしようとしている。	

	「学校新聞の記事を書こう」	書く能力	伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書いている。 B(1)ウ	3
		言語についての知識・理解・技能	学年別漢字配当表のうち、900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。伝国ウ(イ)	
3 学 期	「話し合いで理解を深めようーグループディスカッション」	国語への関心・意欲・態度	グループ討論を前向きに進める方法や心構えを会得しようとしている。	6
		話す・聞く能力	話しやすい雰囲気を作って体験や考えを出し合い、共通点を見つけて整理している。A(1)ア 相手の発言を聞いて分からないところは質問したり確認したりするとともに、話の方向を捉えて自分の考えを話している。 A(1)オ	
	「作品のよさを表現しようー歌の鑑賞文」	国語への関心・意欲・態度	学習活動の見通しを持ち、楽しみながら書いたり交流したりしようとしている。	6
		書く能力	日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめている。 B(1)ア 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書いている。 B(1)ウ	
		言語についての知識・理解・技能	語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係を理解している。 伝国(1)イ(イ)	
	「連体詞・副詞・接続詞・感動詞ー『桃太郎』を修復せよ」	国語への関心・意欲・態度	自らの日常の言語活動を振り返り、言葉のきまりを見出そうとしている。	1
		言語についての知識・理解・技能	副詞の定義と種類について理解している。 連体詞の定義と分類について理解している。 感動詞の定義と分類について理解している。 伝国(1)イ(エ)	
	「漢字の成り立ち」	国語への関心・意欲・態度	漢字の成り立ちについて関心を持ち、進んで漢字の意味や読みを役立てようとしている。	1
		言語についての知識・理解・技能	漢字の成り立ちについて理解している。 伝国(1)ウ(ア)(イ)	
	「名づけられた葉」	国語への関心・意欲・態度	音読や朗読する詩の内容や表現に関心を持ち、工夫して読もうとしている。	2
読む能力		語句の意味を理解し想像力を働かせて詩を読み、朗読するときに注意する語句を選んでいる。 C(1)ア 文章に表れているもの見方や考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広くしている。 C(1)オ		
言語についての知識・理解・技能		比喩や反復などの表現の技法について理解している。 伝国イ(オ)		
「トロッコ」	国語への関心・意欲・態度	読書に関心を持ち、全文を読んで感想を持とうとしている。	4	
	読む能力	情景や人物のさまざまな描写の表現効果について、気づいたことを挙げている。 C(1)エ		
	言語についての知識・理解・技能	語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係を理解している。 伝国(1)イ(イ)		
	日本の名作を読もう			6